

ビル建物におけるエネルギーの高効率利用と更なる省エネを推進するために！



BEMSデータの解析事例解説

講座のねらい

当センターでは、ビルのエネルギーデータを省エネに活用するための最も有効な手段である“トレンドグラフ作成”によるBEMSデータ活用支援ツール「EAST/ECCJ」をホームページ上に無料公開しております。今般はこのツールを活用し、エネルギーデータを深く分析することにより、潜在的(＝一般的には大きな省エネ効果が期待できる)な運転制御上の改善内容を発見し、省エネ対策を立案、その効果を検証する方法を、事例を交えて解説します。セントラル空調を採用するビル建物のエネルギー管理担当者は勿論、設備設計・リニューアル・省エネコンサル業務に携わる方など、ワンランク上のビル省エネを目指す方々にお勧めです！

カリキュラム

1. トレンドグラフプログラムの紹介
 - ・BEMSデータ処理の構成
 - ・トレンドグラフになるまでのデータの流れ など
2. 二次ポンプの制御
 - ・送水圧力制御 ・二次ポンプ設備の特性
 - ・適切な送水圧力 ・圧力制御と動力消費量
 - ・送水圧力と動力消費量実測 ・トレンドグラフの限界
 - ・二次ポンプシミュレーション
3. 冷凍機の制御
 - ・送水温度と冷凍機出口温度 ・ハンチング
 - ・自動発停と低負荷運転・冷凍機台数制御推奨フロー
 - ・運転事例 ・動力削減事例
4. その他の制御
 - ＜トレンドグラフ(例)＞
 - ・蓄熱槽の制御 ・フリークーリング制御 ・空調機の制御

(質疑応答→終了)